

里山保全活動

里山の保全活動で、自然と人間が共生していくことの大切さを知る。また、立ち木をのこぎりで伐採する体験を通して、身近な自然とふれあうことができる活動です。

1. 準備物

自然の家にあるもの のこぎり
準備していただくもの 軍手、長袖、長ズボン、帽子
けがやへび、虫などから身を守るためです。また汚れてもいいもの(ジャージなど)が望ましい。

2. 場所と時間

研修室 0.5 時間(里山保全の話)
ふれあいの森 2.5~3 時間(里山保全作業)

3. 指導について

自然の家の職員が指導します。外部講師を紹介することが出来ます。

4. 方法・進め方

- ① 里山保全についての話を聞く。
- ② のこぎりを腰につけ、ヒサカキの伐採をする。
- ③ ヒサカキを所定の場所まで運び出す。
- ④ 切り出したヒサカキの枝を払い、幹は 30cm程度に切りそろえる
- ⑤ 幹や枝を決められた場所へおく。

5 注意

- ・マムシ 初夏から秋の活動には細心の注意が必要。雨が降った後などややぶなどに多いので注意。
- ・ヤマビル じめじめした地面に多い。かまれてもさほど害はないが、傷口はかゆく、血が止まりにくい。虫除けスプレーを塗っておくとよい。

★活動後は、使用したのこぎりの清掃にご協力下さい。



常緑樹であるヒサカキが群生しているため、地面に日があたらない。



ヒサカキを伐採した後。



林内に日がさしこみ、たくさんの植物が生える森に変わります。